



ふるさと 水戸 50周年

「あい」のある学校・地域 つながれ水戸っ子

話し合いから学び合い

～話し合いは毎日の授業から～

5月18日(水)に、今年度の学ぶ力向上についての県からの学校訪問が行われました。前号でもお伝えしましたが、水戸小学校では、「活動中は仲間の考えを受け止め、自分の考えをもち伝える力」の育成を目指しています。話し合い活動の充実のために、学級会の取組を窓口としています。訪問当日は、多くの学級が学級会を行っている授業を参観しました。低学年から高学年まで、これまでの取組から話し合う力がついてきていると思われました。自分たちのことを自分たちで考えて行動する力を高めることから、学ぶ力も向上していきます。学年が上がるにつれて、その内容も高めていきたいです。



2年1組 にこにこえがおになるためには



3年2組 みんなであいさつをしよう

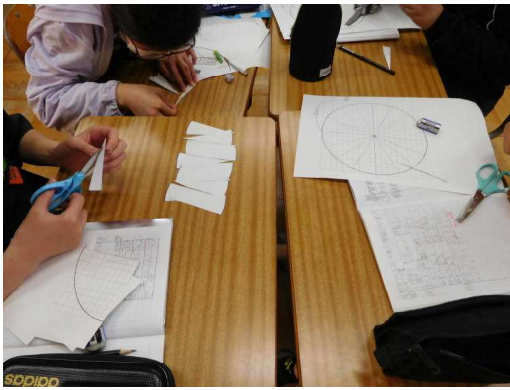


←6年1組 チーム6-1タイムを計画
ミニトマトの観察



そして 日常の授業でも

毎日の教科の授業でもグループで交流、学び合いを取り入れながらつながった話し合い、自分たちで考える授業を行っています。2年生は、先日植えたミニトマトの観察をグループで交流していました。緑色の小さなトマトができていて、これからの成長を楽しみに観察



円の面積の学習

していました。また、6年生では円の面積について学習していました。円の面積というと、中学校で πr^2 [はいあーの2じょうと読みます] (π は円周率、 r は半径)と覚えよう!と教えていましたが、その公式、(半径)×(半径)×(円周率)がどのようにして導かれるのかという筋道を具体的な作業を通して丁寧に学んでいました。しっかりと論理的に考える力をつけて、中学校入学までに確実に自分のものにしてほしいです。

各クラブの連絡

クラブの活動が始まっています

前は教室で計画を立てていましたが、5/23(月)から本格的に活動が始まりました。昇降口の連絡場所に、クラブごとに活動内容や準備物が子どもたちによって記入され、それにしたがって当日の活動を行います。各クラブでは4年生から6年生までの子どもたちが楽しく活動してしまし



卓球クラブ



家庭クラブ

た。また、ボランティアのみなさんも協力してくださっています。自主的な力を身につける大切

な場面です。企画、実行とたくさんの知恵を出し合って取り組んでいます。

水戸に吹く風

5月も下旬になって、学級担任や学年主任の時に子どもたちにしていたこんな話を思い出しました。『ゆでガエル』禁止。『ゆでガエル理論・現象』などと言われるこのことは、「カエルを熱湯の中に入れるとすぐに飛び跳ねて逃げ出すが、水から徐々に温度を上げていくと水温の上昇を気づかず茹でられ死んでしまう」という寓話が元となっています。寓話にあるカエルの状態を指すように、人間は環境適応能力が高いため、ゆっくりと進む環境の変化には気づきにくく、気が付いた時には手遅れになるということを表しているのです。ただし、実際にはカエルを熱湯に入れると逃げ出す間もなく死んでしまい、常温から徐々に水温を上げていくと、途中で逃げ出すそうです。このお話をするのは、例え話にあるように、知らず知らずのうちに自分のピンチが進行していないかと振り返ることのきっかけにという思いがありました。去年まではやっていたのに…、4月にはできていたのに…ということはないでしょうか。自分も1学期の折り返しが近づく今、振り返る機会にしたいと思っています。(山田)

